

## 令和2年度の基本方針

本年度は新たな中期経営計画「Smart Shinkin 2022」がスタートする重要な一年となります。

本計画は、「信用金庫であり続ける」をテーマに、当金庫が地域に寄り添い、地域とお取引先の課題をワンストップで迅速に解決するシステムの構築を目指すもので、当金庫とお客さまの双方向のコミュニケーションの一層の拡充を図ります。

合併から6年を経過し「大阪シティ信用金庫」の経営基盤をさらに強固なものとするため、安定収益力態勢の構築、徹底した業務効率化により、健全性のさらなる強化を図り、お客さまの負託に応え、地域経済の発展に一層貢献してまいります。

そのために、本年度は新中期経営計画の初年度として課題解決型金融を収益向上ビジネスモデルとして確立させるために、TSPE（課題－提案－計画－実行）サイクルの徹底、コンサルティング能力の向上に向けた実践的研修を通じて人材を育成し、適材適所の配置と経営理念の共有による高いチーム力が発揮できる態勢を構築します。

また、生産性を向上させるため、事務の集中化、IT活用

によるペーパーレス化など、業務効率化を進展させます。店舗においては、ロビーコンシェルジュの配置により事務処理の場からコミュニケーションの場へと変革させ、対面取引と非対面取引の融合、さらに得意先係のバックアップ機能を強化し、店頭での相談力の向上に努めてまいります。

得意先担当者も、これまでの対面営業とデジタル技術を活用した非対面での対応の両面からお客さまとのコミュニケーションをさらに深め、経営支援、事業承継、M&Aなどの情報提供と提案力の強化を図ります。

リスク管理面では、経営目標等の達成に向けて能動的にリスクを管理する枠組みであるRAFの活用、マネー・ローンダリング等の金融犯罪防止やサイバーセキュリティへの対応、危機管理態勢を引き続き強化します。

これらの項目について、役職員全員が一丸となって迅速に行動し、責任感を持ち、確実に徹底的にやり抜き、新中期経営計画で目指す「地域密着による課題解決No.1」の信用金庫の実現を図ります。

以上を踏まえ、令和2年度の「経営の基本方針」を以下のとおりとします。

### 経営の基本方針

- 1 金融サービスの高度化と安定収益力態勢の確立
- 2 業務効率化による生産性向上
- 3 お客さま接点としての店舗戦略の再構築
- 4 コンサルティング能力の向上と人材の発掘による適材適所の人材登用
- 5 リスク管理能力の向上と対応力の強化

### 重点施策

- 1 金融サービスの高度化と安定収益力態勢の確立
  - 1 TSPEサイクルの徹底による課題解決型金融モデルの確立
  - 2 総合的なサービス提供による手数料収益確保
  - 3 統合データベースの活用によるお客さまへの提案力の強化
- 2 業務効率化による生産性向上
  - 1 業務の集中化やペーパーレス化、IT等を活用した業務効率化の促進
  - 2 業務補完態勢の確立および得意先業務のバックアップ態勢構築による生産性向上
  - 3 店舗レイアウトの見直しや移管の促進など業務プロセスの効率化の一層の推進
- 3 お客さま接点としての店舗戦略の再構築
  - 1 店舗特性を生かした戦略的店舗配置の実施
  - 2 窓口業務の効率化によるお客さまの利便性向上と事務処理の軽量化
  - 3 対面取引と非対面取引の融合によるロビー戦略の構築
- 4 コンサルティング能力の向上と人材の発掘による適材適所の人材登用
  - 1 課題解決のための実践的研修の強化
  - 2 チーム力を最大化できる職場風土の醸成
  - 3 潜在能力の引き出しと適材適所の人材登用の実施
- 5 リスク管理能力の向上と対応力の強化
  - 1 潜在リスクの把握による管理能力向上とRAFの活用
  - 2 マネー・ローンダリング等の金融犯罪防止、サイバーセキュリティ対策およびBCPへの対応力強化
  - 3 ガバナンスの浸透によるコンプライアンス意識の向上および不祥事防止